

序 文

平成10年12月の小学校や中学校の学習指導要領の改訂で、各教科等に加え、新たな指導を行う時間の枠として「総合的な学習の時間」が設けられた。この時間の指導に当たっては、大まかなねらいが学習指導要領に示されているだけで、具体的な指導のねらいや活動内容については、児童生徒の実態や興味・関心などに応じて、教師が適切に工夫することとされている。当初、学校現場からは、それへの取り組みにくさが指摘されていたが、何よりこの時間は、今を生きる子どもたちが社会の変化や時代の要請に的確に対応し、自己実現を果たすために必要な態度や力、内面性をはぐくむために生かされるべきものであり、教育上重要な意義をもつものと考えられる。

この時間の成立に至った経緯としては、平成元年の学習指導要領の改訂で打ち出された「個に応じた指導」の流れを汲んでいるものと考えたい。

個に応じた指導は、最近マスコミを賑わしている学力面でも、また、総合的な学習の時間で意図されている自己を見つめ、主体的に行動・探求する人間の育成という側面でも、共に重要視されるべきものであり、全人的な教育を目指す上では、決して一方だけが充実すればよいというものではない。

こうした流れの中で、特殊教育に関しては、平成5年に制度化が図られた「通級による指導」が、まさに「個に応じた指導」の一つの具体的な姿であると言える。

このように、「個に応じた指導」という時代の要請に従い、通級による指導と総合的な学習の時間における指導との両者の連携を図るべく実践された試みが、本研究であると思われる。

総合的な学習の時間においては、福祉に関する題材が扱われる場合もある。幅広い福祉の分野の中で、障害のある子どもについて考えることは、学童期の子どもたちが共に未来を作るという意味で互いを知るための重要な課題である。通級による指導を受けている子どもの在籍学級における指導から始まった取り組みが同じ学年の他のクラスへ、そして、その上の学年や下の学年へとその取り組みの場が広がり、結果として、校長先生をはじめとした多くの教職員の理解と援助のもと、全校へと活動の輪が広がっていった。

本報告書においては、以上のような経過における実践を、授業や教材などの具体的な例としてまとめた。研究者と教師が協力しながら取り組んだ折々の記録が、今後の通級による指導や総合的な学習の時間の実践及び連携のための参考となれば幸いである。熱心に取り組まれた研究協力者及び多くのご支援をいただいた当概校の教職員の方々に御礼を申し上げますとともに、今後の更なる実践研究の充実を期待したい。

平成15年2月

独立行政法人

国立特殊教育総合研究所

聴覚・言語障害教育研究部長

宍戸和成

目 次

序 文

研究組織

研究の趣旨及び目的	1
-----------------	---

研究の結果

I. 通級指導教室から通常の学級への発信	2
----------------------------	---

II. 通常の学級との協働による「総合的な学習の時間」の展開	8
--------------------------------------	---

考察と今後の課題	18
----------------	----

資 料

「総合的な学習の時間」における障害体験学習の指導案とワークシート

(1) 視覚障害体験学習	23
--------------------	----

(2) 聴覚・言語障害体験学習	43
-----------------------	----

(3) 車いす体験学習	54
-------------------	----

(4) 高齢者体験学習	66
-------------------	----

研究組織

研究代表者

久保山 茂 樹（独立行政法人国立特殊教育総合研究所 聴覚・言語障害教育研究部）

研究協力者

豊 田 弘 巳（町田市立鶴川第三小学校）

交付決定額（配分額）

（金額単位：千円）

	直接経費	間接経費	合計
平成13年度	900	0	900
平成14年度	700	0	700
総計	1,600	0	1,600

学会発表等

(1) 学会誌等

- ・久保山茂樹・豊田弘巳：通級指導教室と通常の学級との協働による「総合的な学習の時間」の展開，独立行政法人国立特殊教育総合研究所研究紀要第29巻，43-54. 平成14年2月
- ・久保山茂樹・豊田弘巳：通級児のための障害理解授業から学校全体のための総合的な学習の時間へ，独立行政法人国立特殊教育総合研究所プロジェクト研究報告書，97-104. 平成14年3月

(2) 口頭発表

- ・豊田弘巳・三浦八重美・久保山茂樹：通常の学級に対する発信から協働へー「やさしさってなんだろうな？」の試みー，全国公立学校難聴・言語障害教育研究協議会全国大会島根大会開催要項，73-76. 平成13年7月
- ・豊田弘巳・久保山茂樹：通級指導教室から通常の学級への発信(2)ー通常の学級に対する発信から協働へー，日本特殊教育学会第39回大会発表論文集，2112. 平成13年9月
- ・久保山茂樹・豊田弘巳：通級指導教室から通常の学級への発信(3)ー「総合的な学習の時間」における授業の実際ー，日本特殊教育学会第39回大会発表論文集，2113. 平成13年9月
- ・豊田弘巳・久保山茂樹：総合的な学習の時間における通常学級と通級指導教室の協働Iー「やさしさってなんだろうな」の試みよりー，日本特殊教育学会第40回大会発表論文集，419. 平成14年9月

研究期間

平成13年度～平成14年度